

SDA定時総会、理事会、評議員会 社会貢献へ一層尽力

宅配従業員の安全運転教育推進

食品宅配企業などで構成され、会員相互で積極的な交通安全推進活動に取り組む全日本デリバリー業安全運転協議会(SDA)が、6月11日、東京都千代田区のホテルで定時総会および理事会、評議員会を開催。2024年度に実施する事業計画案や予算案などを決めた。総会には、同協議会理事・監事を含む正会員・賛助会員をはじめ、企業代表や団体理事、大学教授など有識者が務めるSDA評議員、そのほか警察庁、警視庁など警察行政の関係部局からも多数出席した。

議案の審議は浅野理事長を議長に進行され、2023年度事業実績・決算報告、24年度事業計画・予算案などの全議題がいずれも原案どおり承認された。

総会では、東京都の23年度セーフティドライブコンテスト成績優秀会社(ストロベリーコーンズ、ドミノピザジャパン、ライドオンエクスプレス)の表彰が行われ、浅野理事長から賞状が授与された。



総会、理事会、評議員会会場

浅野理事長は、2023年度事業実績・決算報告、24年度事業計画・予算案などの全議題がいずれも原案どおり承認された。

総会では、東京都の23年度セーフティドライブコンテスト成績優秀会社(ストロベリーコーンズ、ドミノピザジャパン、ライドオンエクスプレス)の表彰が行われ、浅野理事長から賞状が授与された。

配賛助会員、宅配外賛助会員各1社▽宅配賛助会員から宅配外賛助会員に移行1社の結果、年度末現在会員数は▽正会員6社▽賛助会員(宅配業者)14社▽賛助会員(宅配業以外)32社の計52社となっている。

教育訓練 ①安全運転実技講習会 ②自転車を含む安全運転実技講習会(開催14回、参加153名) ③座学講習会 ④警視庁交通部による自転車の座学講習会に参加(開催1回、参加44名)。

無事故無違反運動 全国で5079人が参加し、無事故達成率は75.1%だった。

競技大会 ①第24回SDAセーフティコンテスト ②自動車安全運転センターと共催し、茨城県警察本部と全日本交通安全協会の後援を得て開催。4社、11個チーム、50名が参加。SDA創立30周年記念大会となったため、スライドや動画を投影して大会の歴史を紹介するなどにより、大会を一層盛り上げた②第20回警視庁・SDA共催安全運転競技大会 ③東京都交通安全協会の後援を得

て開催。5社、11個チーム、38名が参加。

社会貢献活動 高齢者運転免許自主返納支援活動▽各警察本部等からのチラシ等配布およびポスター掲示依頼に各社が協力▽SDAが飲酒運転根絶ならびにハンドルキーパー運動に協賛していること、および110番活動に参加していることをホームページに掲示するなど。

長、暴力団追放運動推進都民センターの増田光春業務執行理事兼事務局長による講話も行われた。23年度事業実績の主なものは――

会員の異動 入会 賛助会員(宅配業者以外)2社入会 退会 宅

警視庁無事故無違反運動で優秀な成績を収めた企業に警視庁交通総務課の菊池係長(左)から感謝状が手渡された⑤全国無事故無違反達成チームに浅野理事長(左)から賞状が授与された



活動など。

講習会 ①座学講習会 ②店長およびFCオーナー等対象の座学講習会(10名以上の参加希望者がいれば開催する) ③自転車実技講習会 ④自転車の実技・座学講習会 ⑤無事故無違反運動。

安全運転競技大会 自動車安全運転センターと共催で「第25回AD Aセーフティコンテスト」を、茨城県警察本部と全日本交通安全協会の後援を得て開催する▽警視庁との共催で「第21回安全運転競技大会」を東京都交通安全協会の後援を得て開催する。

二輪車安全運転指導員資格の取得促進 交通安全運転マニュアルの頒布促進

SDAの魅力化施策の推進 対内的施策(手帳会議、実技・座学講習、安全運転競技大会) 対外的施策(社会貢献

活動など。

会、評議員会終了後には会員企業関係者および関係行政・団体関係者を招いての懇親会が開かれ、冒頭、あいさつに立った浅野理事長は、「宅配従業員の安全運転教育を目的として平成5年に設立されたSDAも、31年目。現在では皆様のご協力、ご支援のおかげで交通安全以外にも、防犯など社会に貢献できる事業ができるようになり、感謝申し上げます。今後より一層社会に貢献できるような頑張っていく所存なので、今後ますますのご協力をお願い申し上げます」旨を述べた。

なお、この日、来賓を代表して警察庁の早川智之交通局長があいさつを行い、警察行政に対する今後より一層の理解と協力を求めた。

例年来賓として出席している高市早苗衆議院議員(経済安全保障担当大臣・科学技術政策担当大臣)はこの日、公務により欠席したことから、祝電を寄せ、SDAの村川理事が概要以下のとおり代読した。「昨今、外食産業は大きく変化し、国民の皆様にとって食品デリバリーはこれまで以上に生活を支えるインフラであり、また、暮らしの

楽しみになっている。長年にわたりデリバリー業界における安全運転管理の強化や、従業員に対する交通安全教育指導の実施に取り組んでこられた貴協議会の皆様のご尽力に、感謝と深い敬意を表す。貴協議会の皆様には配達業務中の交通事故防止に関し、引き続き安全運転管理の強化と、配達員に対する交通安全教育の実施をお願い申し上げます。私も国政の場で貴協議会の取り組みを後押ししていきたいと考えています。引き続きご指導賜るようお願い申し上げます」